

京都ウィメンズアカデミー事業評価基準

| 項 目 | 細 項 目 | 評価の着眼点 | 配点 |
|---------------|------------------------|--|----|
| 業務実施面 | ①組織体制 | ・事業責任者の配置、通常時の運営体制、雇用者の確保、緊急時の対応や自社のバックアップ等、安定した運営を図ることが期待できるか。 | 10 |
| | ②業務スケジュール | ・各事業ごとに妥当な時間配分がされ、業務完了に至るまでの過程が明確に説明されているかどうか。 | 5 |
| | ③同種業務の実績 | ・同種業務を行った実績があり、企業における女性活躍推進支援に十分な成果を収めているか。 | 5 |
| 事業の企画 提案内容 | ①経営者の意識改革 セミナーの実施 | ・経営者・経営層の関心を促し、多数の参加者の参集が可能な講師・プログラム等を設定しているか。 ・経営者・経営層の女性活躍推進に係る意識改革を図り、各企業の女性活躍推進の実行が期待されるようなセミナー内容となっているか。 | 10 |
| | ②企業の枠を超えた 女性活躍研修の実施 | ・各研修の趣旨や目的を達成するため、研修内容（規模・テーマ・プログラム・時間・実施時期等）に工夫があるか。 ・「女性社員研修」「管理職予備層向け研修」の各々について、女性社員のキャリアの段階に応じた、キャリア開発に資するよう研修内容が組み立てられているか。 ・京都府北部・南部地域で実施する研修について、地域事情を考慮して研修内容が組み立てられているか。 | 10 |
| | ③メンター×メンティ等 マッチング支援 | ・メンターに対する研修が、メンターとして活動するための実践力を養う内容となっているか。 ・メンターとメンティのマッチング交流会について、あらゆる業種、業種別などで開催形式が工夫されているか。 ・マッチング後も、メンター・メンティ関係の継続が保たれるよう、適切なフォローアップが行われる仕組みを構築しているか。 ・各取組への事業回数の配分や全体スケジュールについて事業が効果的に実施できるよう、配慮がなされているか。 | 10 |
| | ④京都ウィメンズベ ースラボの運営 | ・企業の様々な課題の中から最適な検討テーマを抽出するための方法を構築しているか。 ・限られた実施回数で効果的なアウトプットが導き出されるよう検討会の持ち方（講師の選定・参加者の構成・回数・会議次第）に工夫があるか。 ・検討会の結果を各企業における具体的な実施に結びつけるための支援の方法に工夫があるか。 | 10 |
| | ⑤各業務間連携 | ・事業の成果が最大限に発現するよう、①から④の業務間の連携の工夫がなされているか。 | 10 |
| | ⑥利用者拡大方策 | ・提案された方策が各事業への企業の参画の増に繋がると期待できるか。 | 10 |
| 府内企業 | 本拠・拠点の所在 | ・提案者の本拠・事業拠点が府内にあるかどうか。 | 5 |
| 経 費 | 経費見積 | ・事業の実施に必要な経費等が適切に見積もられ、事業の対象者や内容、効果等からみて適切な範囲であるとともに、委託上限金額の範囲内か。 | 15 |